

1 — ① 堀江和真 Kazuma Horie



作品名：「イメージを置く」

素 材：プラ板、マグネット、色鉛筆、  
鉄の支持体など

サイズ：H54cm W31cm D31cm

制作年：2020 年

作品価格：300,000 円（税抜）

絵画を描くことは、頭の中にあるイメージを画面のどこに置くのか ... つまり構図をかんがえることが、重要だと考えます。

今回の作品、「イメージを置く」は、この絵画のイメージを一つずつマグネットをつけたレリーフとしてつくっています。ここでは、構図をつくることを半ば放棄した状態で、イメージが鉄の支持体を多につくし、繁茂しています。つくば北条を訪れた時のイメージもチラホラ。

堀江和真 Kazuma Horie

1981 年生まれ、現在神奈川在住。

2004 年桜美林大学文学部を卒業後、画材屋世界堂にて八年間勤務。その後は、珈琲焙煎やベーグル屋の仕事を経て、子供絵画教室を自宅で開いています。絵を描くことは幼い頃から自然と繰り返しています。現在、子供教室とは別に相模原にあるシェアスタジオ、アトリエボイスに制作の拠点を置き、現代アートの制作を行なっています。

